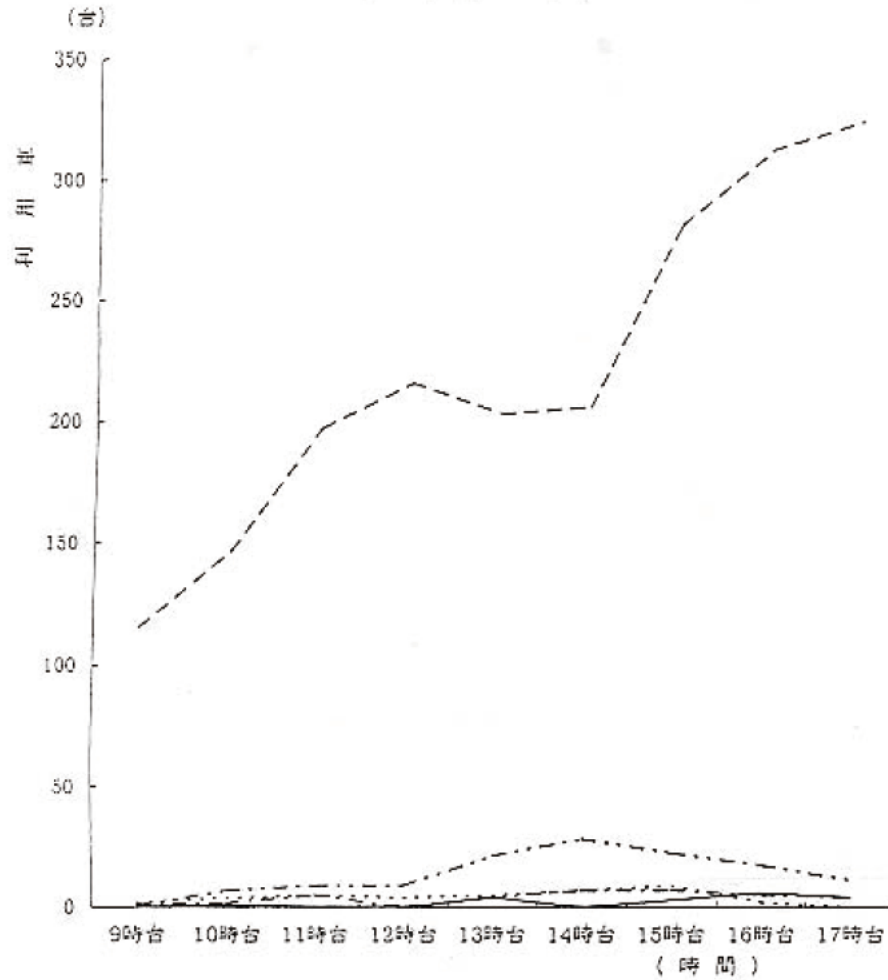
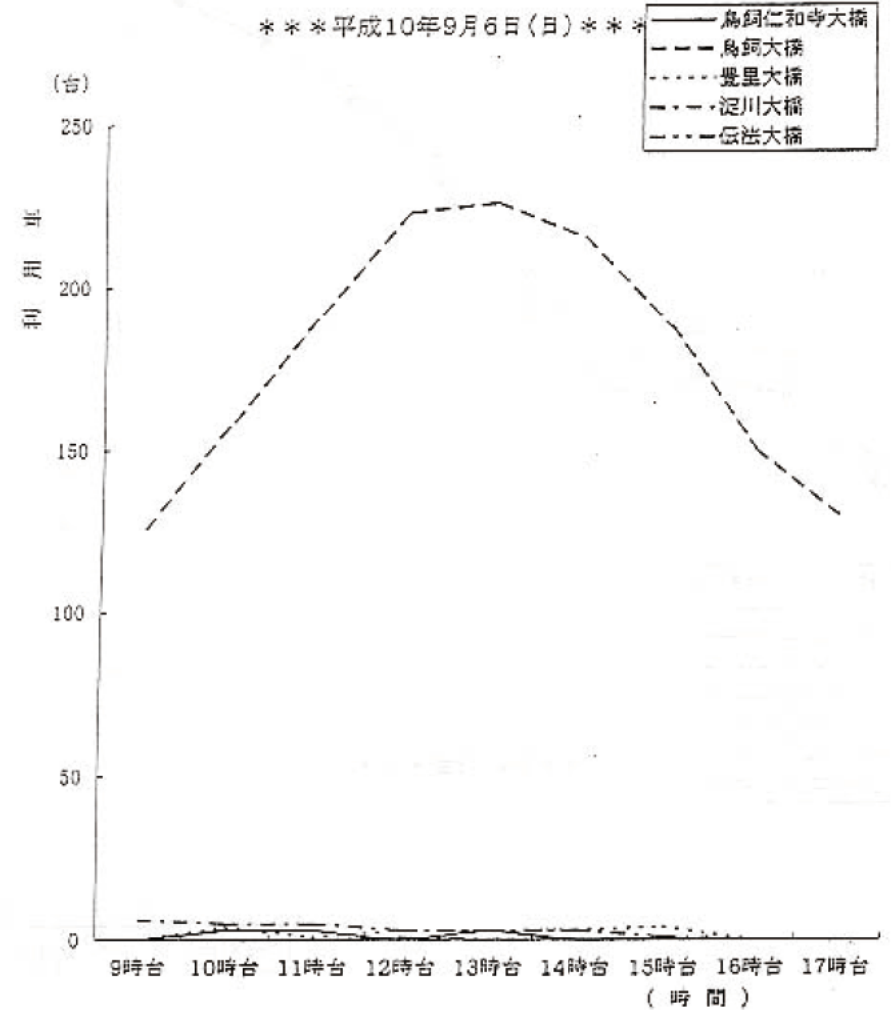


利用数時間変動

平成10年8月30日(日)



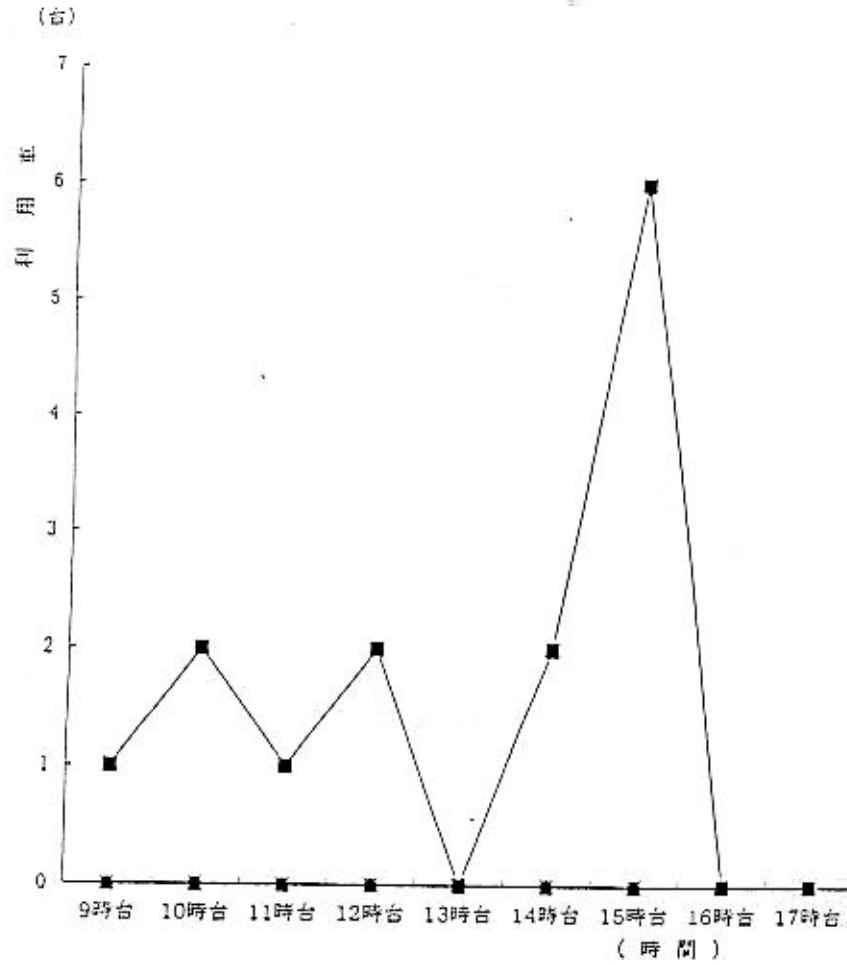
平成10年9月6日(日)



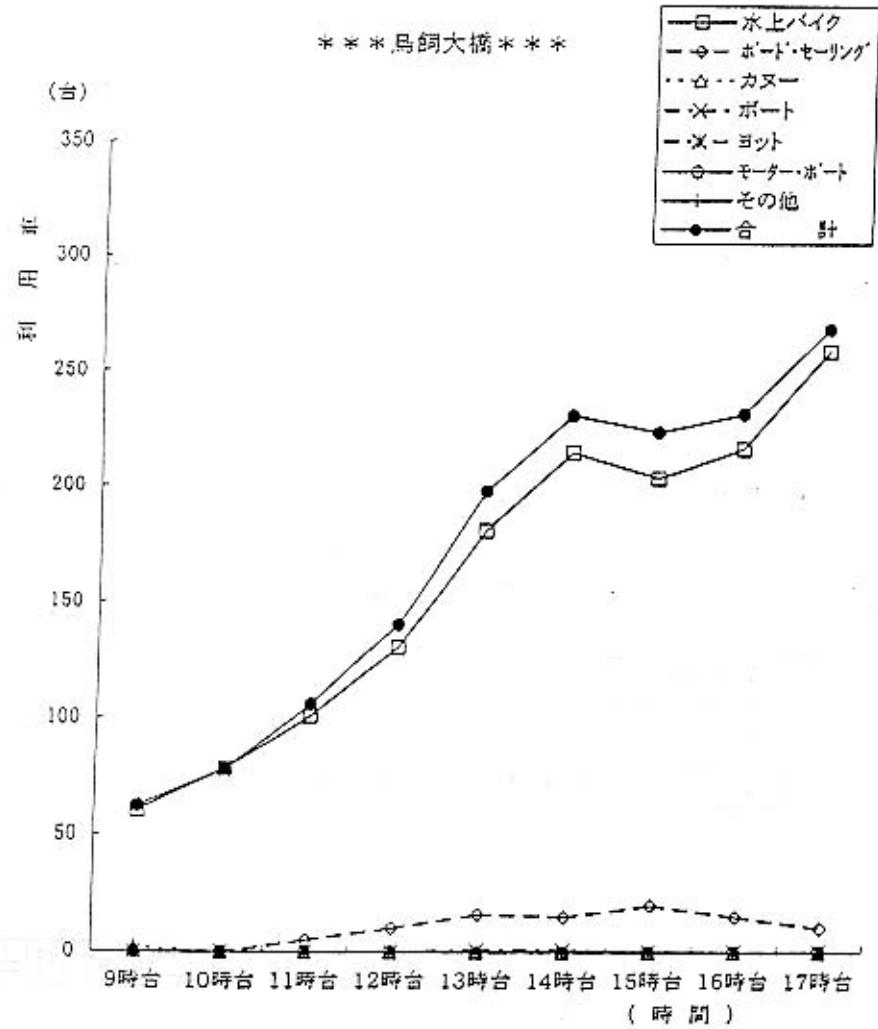
地点・利用別時間変動図

<平成10年8月16日(日)>

鳥飼仁和寺大橋



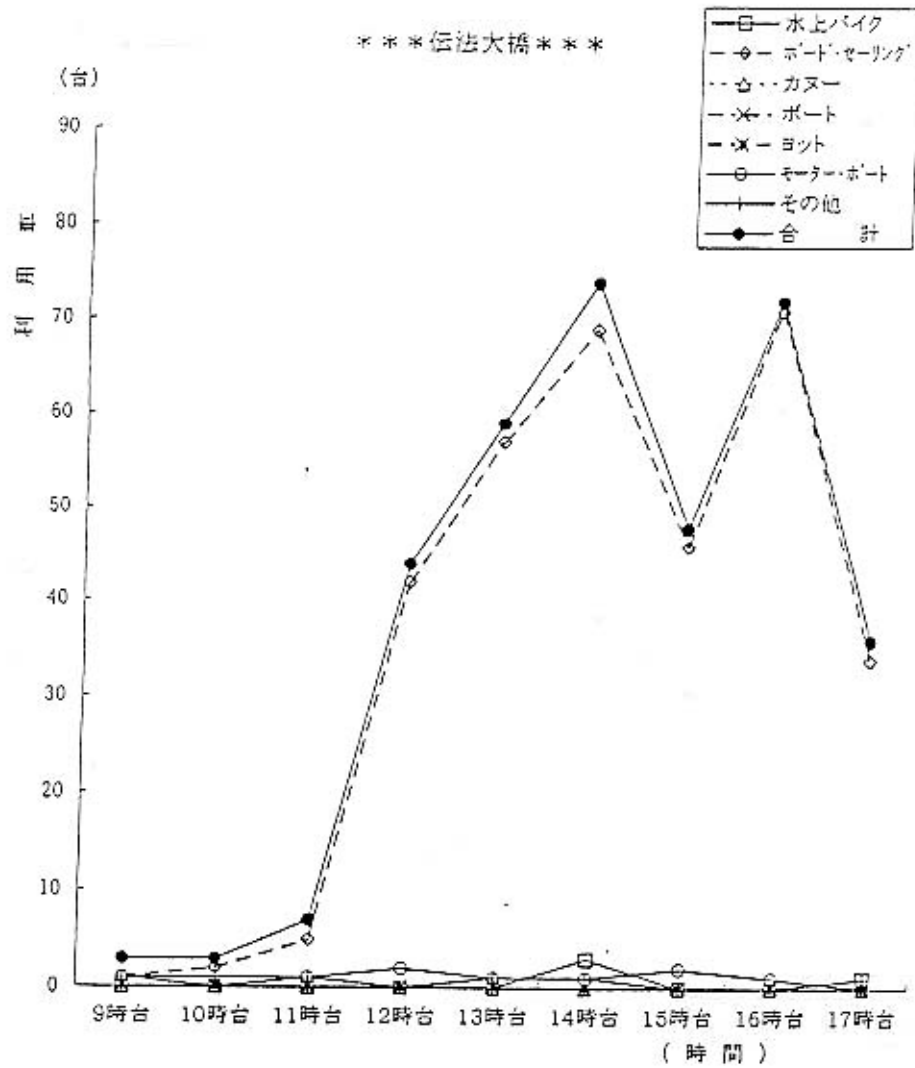
鳥飼大橋



地点・利用別時間変動図

<平成10年8月16日(日)>

佐法大橋



淀川水上オートバイ騒音調査報告

1. 調査概要

日 時 平成10年8月30日 午前9時～午後7時
場 所 鳥飼大橋下流 (右岸: 摂津市一津屋 左岸: 守口市八雲北町)
1断面につき堤防天端(地上1.2m)と家屋付近(2階相当高さ)
の2ヶ所 右岸2断面、左岸2断面の計8ヶ所

調査頻度 9時から17時30分まで、1断面の堤防頂と家屋付近を同時に、1回につき10分間水上オートバイ騒音を測定し、それぞれの騒音レベルを算出した。それを上下流1時間おきに交互に測定した。また、水上オートバイが走行しない状態での暗騒音を17時30分以降に測定した。なお、測定時に併せて走行台数を調査した。

2. 調査結果

調査結果は次頁に示すとおりである。

[左岸側]

堤防頂でのピークの平均値は55～67 dBで最大値は77 dBであり、走行台数が多い時間帯に大きな値となった。家屋付近では、堤防という厚い壁により遮音されるため、ピークの平均値が50～58 dBで堤防頂より5～9 dB小さい結果となった。

また、一般に環境評価に用いられている騒音レベル中央値(L_{50})は、堤防頂では52～61 dBと暗騒音より2～8 dB大きく、家屋付近では、47～53 dBと暗騒音と同じか1～6 dB大きい値であった。

[右岸側]

堤防頂でのピークの平均値は59～67 dBで最大値は75 dBであり、走行台数が多い時間帯に大きな値となった。家屋付近では、堤防という厚い壁により遮音されるため、ピークの平均値が52～55 dBで堤防頂より7～12 dB小さい結果となった。

家屋付近の測点は堤防沿いの道路に面しており、道路交通騒音がピーク値で68～75 dBと水上オートバイのピーク値よりもはるかに大きいことから、水上オートバイ騒音が確認されたのは、道路交通が途絶えた時のみであった。

また、一般に環境評価に用いられている騒音レベル中央値(L_{50})は、堤防頂では60～63 dBと暗騒音より1～4 dB大きく、家屋付近では断面1で中央値が63～65 dB、断面2で61～63 dBとなり、共に水上オートバイ騒音測定時の値に変化が認められなかった。また、道路交通騒音の影響から堤防頂よりも大きな値となった。

調査位置図

右岸2-B
地上3.9 m

右岸1-B
地上5.0 m

右岸2-A
地上1.2 m

右岸1-A
地上1.2 m

左岸2-A
地上1.2 m

左岸1-A
地上1.2 m

左岸2-B
地上4.2 m

左岸1-B
地上4.2 m

淀川

